

令和2年8月20日

県内各小・中・義務教育学校長 様
茨城県小中学校教頭会 会 員 様

茨城県小中学校教頭会
会長 高貫 和夫
茨城県小中学校教頭会研究大会 日立大会
実行委員長 國井 篤

第61回 茨城県小中学校教頭会研究大会 日立大会について(お知らせ)

残暑の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本会の活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます

さて、茨城県小中学校教頭会では、令和2年11月6日に標記研究大会の開催を予定しておりました。しかし、日立大会実行委員会より通常の参集型の大会開催について中止の上申を受けました。それを受け、臨時の役員会を開催し、第61回 茨城県小中学校教頭会研究大会 日立大会の開催について、以下のように決定いたしましたのでお知らせいたします。

第61回 茨城県小中学校教頭会研究大会 日立大会は、例年の参集型の研究大会は行わず、形式を変えた「紙面発表大会」として行う。

日立大会実行委員会では、総意として、下記の事由により、適正に判断を行っていただき、正に断腸の思いで通常開催中止の結論を下しました。茨城県小中学校教頭会においても、同様の判断を行い、通常開催を取りやめ、紙面発表大会として行うことを決定いたしました。

日立大会においては、研究大会の開催に向けて十分な準備を進めてこられました。また、各郡市の教頭会においても、当大会の発表に向けて、各地で真摯な取組や研究実践など、多くの有意義な研究成果が積み重ねられています。そこで、日立大会はあえて「中止」ではなく、大会要項や紀要などでの研究成果を交流する「紙面発表大会」という形で行うことといたします。

したがって、11月6日(金)に予定しておりました、第61回 茨城県小中学校教頭会研究大会 日立大会は、開催いたしません。

趣旨をご理解いただき、今後とも本会の活動にご協力をいただきたくお願い申し上げます。

〈日立大会実行委員会からの研究大会通常開催中止の上申書より〉

1 事由

- ① 現在、新しい生活様式に基づいて生活しているものの、新型コロナウイルス感染の新規陽性者が増え続けている。また、経済活動を抑制することが困難な状況から、緊急事態宣言のような具体的な対応策が出せない状況である。この状況の中で、750名を超える副校長・教頭が一堂に会し、濃厚接触が明らかな研究大会を開催すること自体、強く非難されるだけでなく、感染拡大の可能性もある。
- ② 参集型の研究大会を実施し、万が一、大会に参加した方から感染者が出た場合は、多数の副校長・教頭が2週間の自宅待機や隔離など、学校運営上多大な迷惑や被害を及ぼすことになる。当然、茨城県小中学校教頭会のでダメージは計り知れない。
- ③ 本研究大会は、例年、茨城県教育委員会等多くの教育機関・団体から後援をいただいている。これらの後援機関から中止要請を受ける前に、当事者として参集型の研究大会の中止を決定すべきである。

2 事後の対応

- ① 日立大会を「紙面発表大会」とする。
- ② 提言者の原稿を含めて「大会要項」を作成し、茨城県小中学校教頭会の全会員に配付し、研究成果の共有を図る。